

2026年5月18日

各位

株式会社 りそなホールディングス

## ～銀行業界初～「SX 銘柄 2026」に選定

株式会社りそなホールディングス(社長 南 昌宏、以下「りそなグループ」)は、経済産業省と東京証券取引所が選定する「SX 銘柄 2026」に選定されました。なお、「SX 銘柄」への選定は銀行業界では、当社が初めてとなります。



「SX 銘柄」とは、サステナビリティ・トランスフォーメーション<sup>※1</sup>を通じて持続的に成長原資を生み出す力を高め、企業価値向上を実現する先進企業を選定するものです。今回、東京証券取引所に上場する企業約3,900社から15社が選定されました。りそなグループにおいては、長期ビジョンである「リテールNo.1」の実現に向けた中期経営計画をはじめとする経営戦略やリテール強化などの取り組みが評価されました。

※1 企業や社会の持続可能性を重視した経営方針のこと

今回の選定は、主に次のような点が評価されました。

➤ 「リテール特化の歴史」と「変革のDNA」を強みに価値創造力を強化

りそなグループは、信託併営リテールバンキンググループとしてリテールに特化した歴史を歩みながら、「変革への挑戦」を続けています。長期ビジョン「リテールNo.1」の実現に向けてリテールビジネスの強化に留まることなく、そこに内在する高コスト構造といった課題にも向き合い、構造改革を進めていることが評価されました。

➤ コーポレートトランスフォーメーション(以下「CX」)<sup>※2</sup>を軸とした経営基盤の次世代化

前中期経営計画を「リテールNo.1 実現への加速に向けてCXに取り組む最初の1,000日」と位置づけ、外部環境変化への適応やリテールビジネスの高コスト構造打破という課題解決に取り組んできたことが評価されました。

※2 企業が経営戦略や組織体制を変革し、ビジネス環境の変化に対応すること

りそなグループは、2026年3月に「リテールNo.1」への歩みを次のステージへ進める意思を示すため、マテリアリティを改定し、新中期経営計画「Shift to the Next Stage —新たなカタチをつくる3年間—」を策定しました。引き続き、グループパーパスである「金融+で、未来をプラスに。」のもと、金融の枠にとどまらない発想で変革に挑戦します。

以上